

(臨床研究に関するお知らせ)

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科に、心臓血管外科での入院で術前よりリハビリテーション歴のある患者さんへ

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

当院心臓血管外科患者の術前 phase angle が術後経過に及ぼす影響

2. 研究責任者

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科 理学療法士 丸本 翔馬

3. 研究の目的

Phase angle とは体組成計によって抽出される細胞膜の栄養状態の指標であると言われている。この指標は重症患者の栄養評価、心臓手術患者における栄養指標の術前リスク因子であると報告されている。また、近年、フレイル・サルコペニア領域でも注目されており、ロコモティブシンドロームリスクのスクリーニングツールであると報告されており身体機能の指標にも用いられている。しかし、心臓血管外科術前 phase angle が術後経過に及ぼす影響は検討されていないため今回、当院の心臓血管外科患者の術前 phase angle が術後経過に及ぼす影響を明らかにすることで入院長期化、自宅退院困難症例等術後難渋症例の把握し早期介入、スムーズな自宅退院への一助となる。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

心臓血管外科の患者さんで、平成30年12月1日から令和元年11月30日までの期間中に、心臓血管外科に入院し術前よりリハビリテーションを受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、身長、体重、疾患名、既往歴、術式、手術情報、術後合併症、ICU 在室日数、生化学検査データ、心エコー、理学療法開始日数、離床開始日数、歩行開始日数、歩行自立日数、筋力、体組成に関する情報です。

(3) 方法

カルテより情報を収集し術前体組成情報と術後経過の関連を調査します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

〒569-1192 大阪府高槻市古曽部町 1-3-13

社会医療法人愛仁会高槻病院リハビリテーション科 理学療法士 丸本 翔馬

TEL : 072-681-3801 FAX : 072-682-3834 E-mail : marumoto.shouma@aijinkai-group.com